

Anne Queffelec, Piano

アンヌ・ケフェレック (ピアノ)

音も成し

ON MOTENASHI

CONCERT PROFILE

パリ生まれ。パリ国立高等音楽院を首席で卒業後、ウィーンでパウ・パドゥラ=スコダ、イェルク・デームス、アルフレッド・ブレンデルに師事。1968年ミュンヘン国際音楽コンクール優勝（審査員満場一致）、翌年リーズ国際ピアノ・コンクール入賞。1970年にウィーンで、翌年にはパリでデビューを飾った。その後世界各地でリサイタルを開き、主要オーケストラと共演する。これまでに、ロンドン交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラと、コリン・デイヴィス、スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ、マレク・ヤノフスキ、デイヴィッド・ジンマン等の指揮者と共演している。フランス各地での主要音楽祭やBBCプロムス、日本では「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン（熱狂の日）」音楽祭に登場し高い人気を誇る。CDは、『サティと仲間たち』（ミラーレ）がディアパゾン・ドール賞を受賞。2017年には最新盤の『ダンスに加わって』（ミラーレ）がリリースされた。また、映画「アマデウス」ではサー・ネヴィル・マリナーとの共演でピアノ協奏曲を演奏し、話題を呼んだ。



©Caroline Doutré

芸術総監督おすすめコメント

世の中には数多のプロとして活躍する演奏家がありますが、真に傑出した芸術家というのは意外に一握りです。人気がある、売れている、とは別次元の話です。アンヌ・ケフェレックさんはその中でも真の芸術家として自信をもってお薦めできるピアニストです。その演奏は熟成を重ね、今彼女から流れ出る音は濃厚な音楽の上澄みの、透き通ったピュアな美しさだと感じます。そして、今回のプログラムもそれを楽しめる素晴らしいものだと思います。当日、会場内は陶酔感に満ちるのではないのでしょうか。是非体感して欲しい公演です。

東海市芸術劇場芸術総監督 安江正也

劇場インフォメーション



©Akira Muto

芸術劇場・オペラ聴いてみようプロジェクトVol.1「オペラぺらぺらコンサート」

2018年7月7日(土) 16:00開演

東海市芸術劇場 多目的ホール

一般 ¥3,000 小中高生 ¥1,000 ※未就学時入場不可

発売日:【先行】3月24日(土) 【一般】3月31日(土)

出演

天羽明恵(ソプラノ)、須藤慎吾(バリトン)、城谷正博(ピアノ)

プログラム

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」より
ヴェルディ: 歌劇「リゴレット」より